

授業実践の紹介例（１）（実際の指導案から、一部を抜粋し改変してあります。）

領域【書くこと】

- 1 単元名 目的に応じて伝える・書く
- 2 単元設定の理由 書くことに対する苦手意識を持つ生徒がその理由としてあげるのは「書くことがない」「どう書けばいいかわからない」などである。書くことに関して抵抗をなくし、書くことの必要性を考えさせ、実生活における書く能力を高めたいと考え設定した。
- 3 単元の目標 目的に応じて適切な表現を用いて書く力を高める。
- 4 単元の評価規準 目的に応じて適切な表現を用いて、聞き手に伝わるよう書いている。
- 5 指導計画 折り紙の折り方を説明する。（全1時間）
- 6 展開（指導案の展開のみ）

	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価の実際
展 開	1 教師の説明を聞きながら折り紙を折ってみる。 2 わかりにくかった点を発表する。 3 グループで折り方の説明をワークシートに記入する。 4 グループ発表をする。 5 説明の違いについて考える。	1 作業を観察しながら説明する。 3 発表するので読み手・聞き手がわかりやすいものを心がけさせる。実際に作成の工程を確認しながら作文をするよう指導する。	読み手や聞き手を意識した文を書いているか、ワークシートを分析して評価する。 〈観察〉〈ワークシート〉 同じ行為を表現するにも様々な言い回しがある、表現が違えば伝わり方が違うことを理解している。 〈観察〉

- 7 ワークシート 別紙